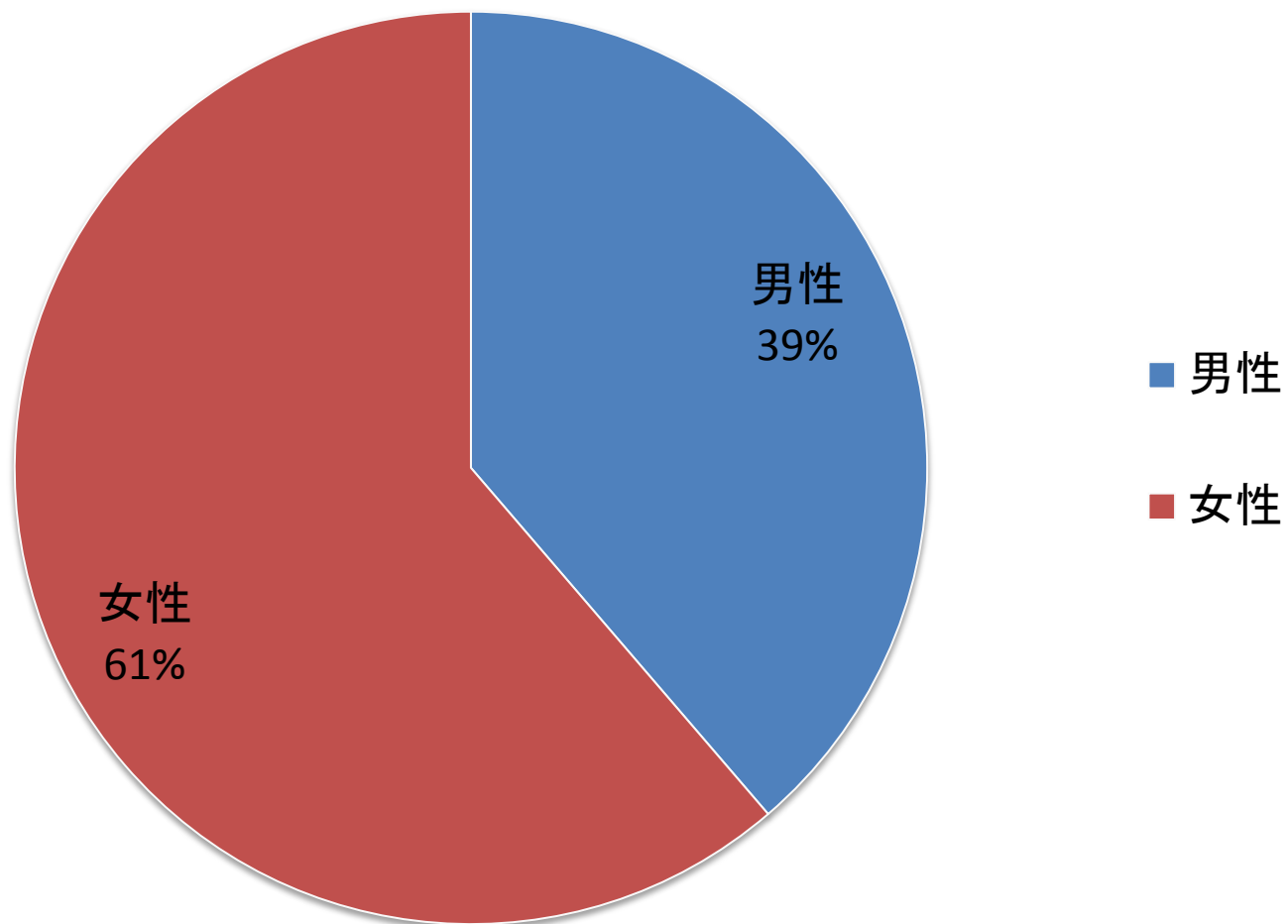
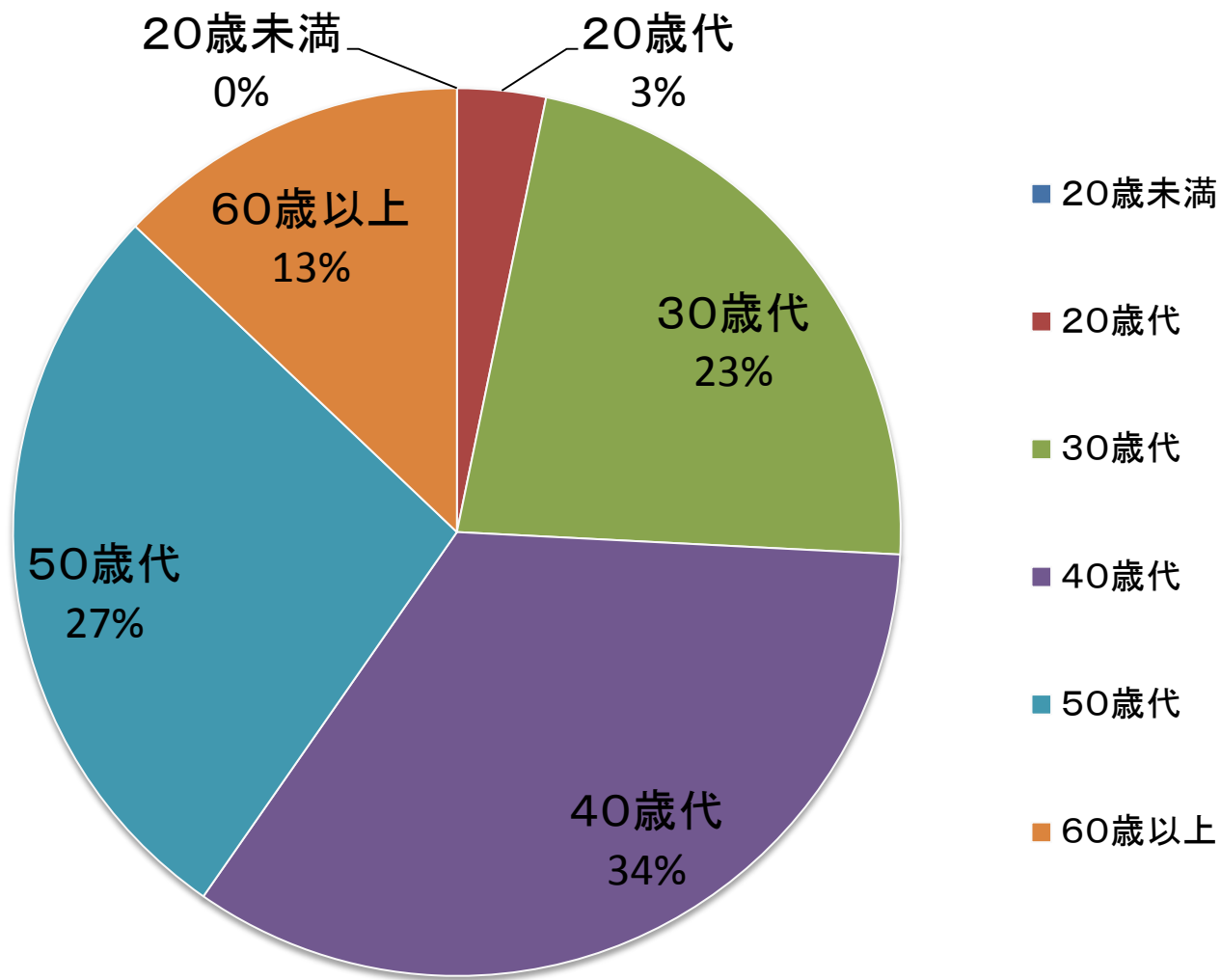

練馬区在宅療養推進事業
第4回事例検討会
-アンケート結果-

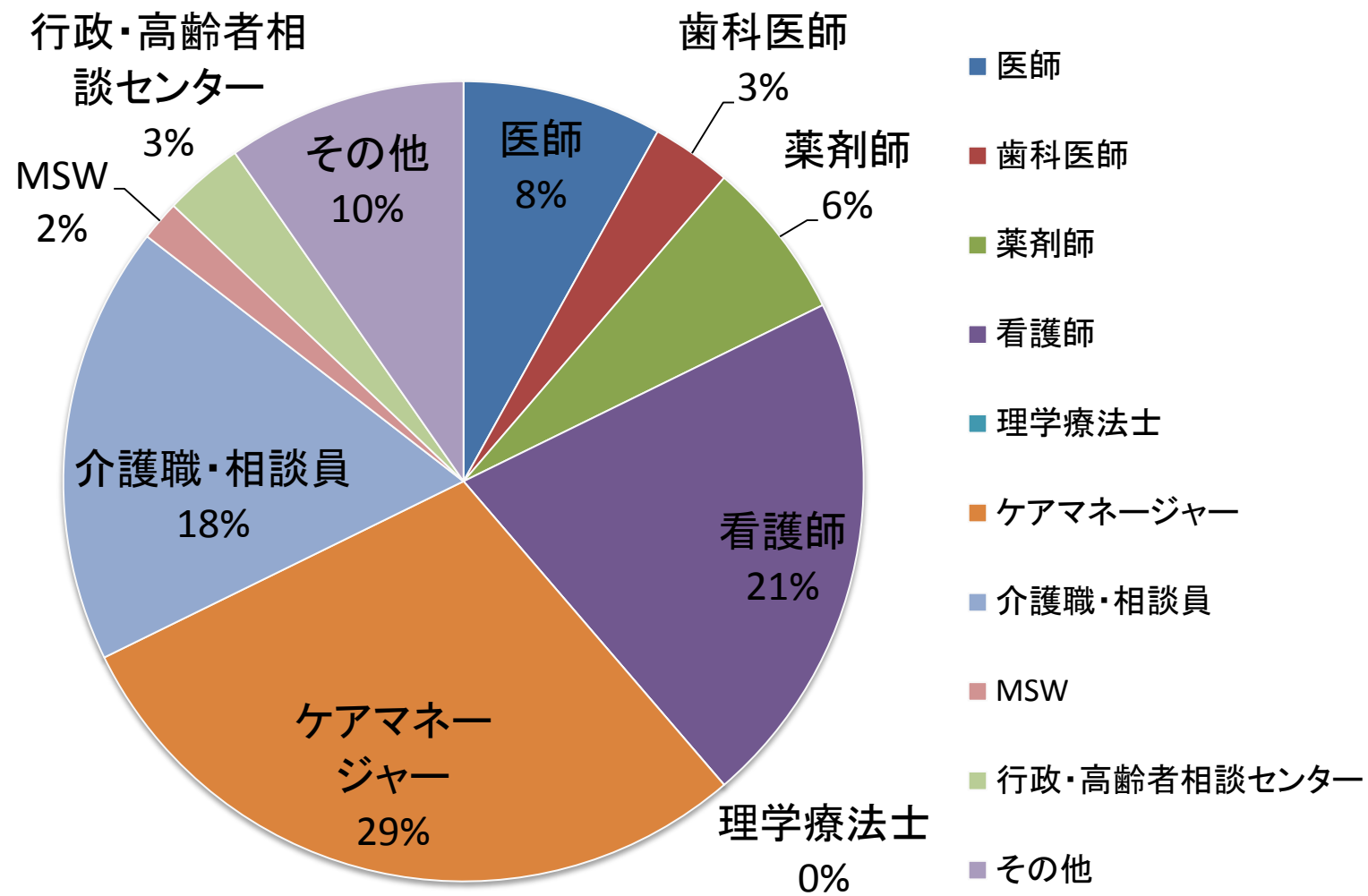
【設問1】回答者プロフィール①性別



【設問2】回答者プロフィール②年齢

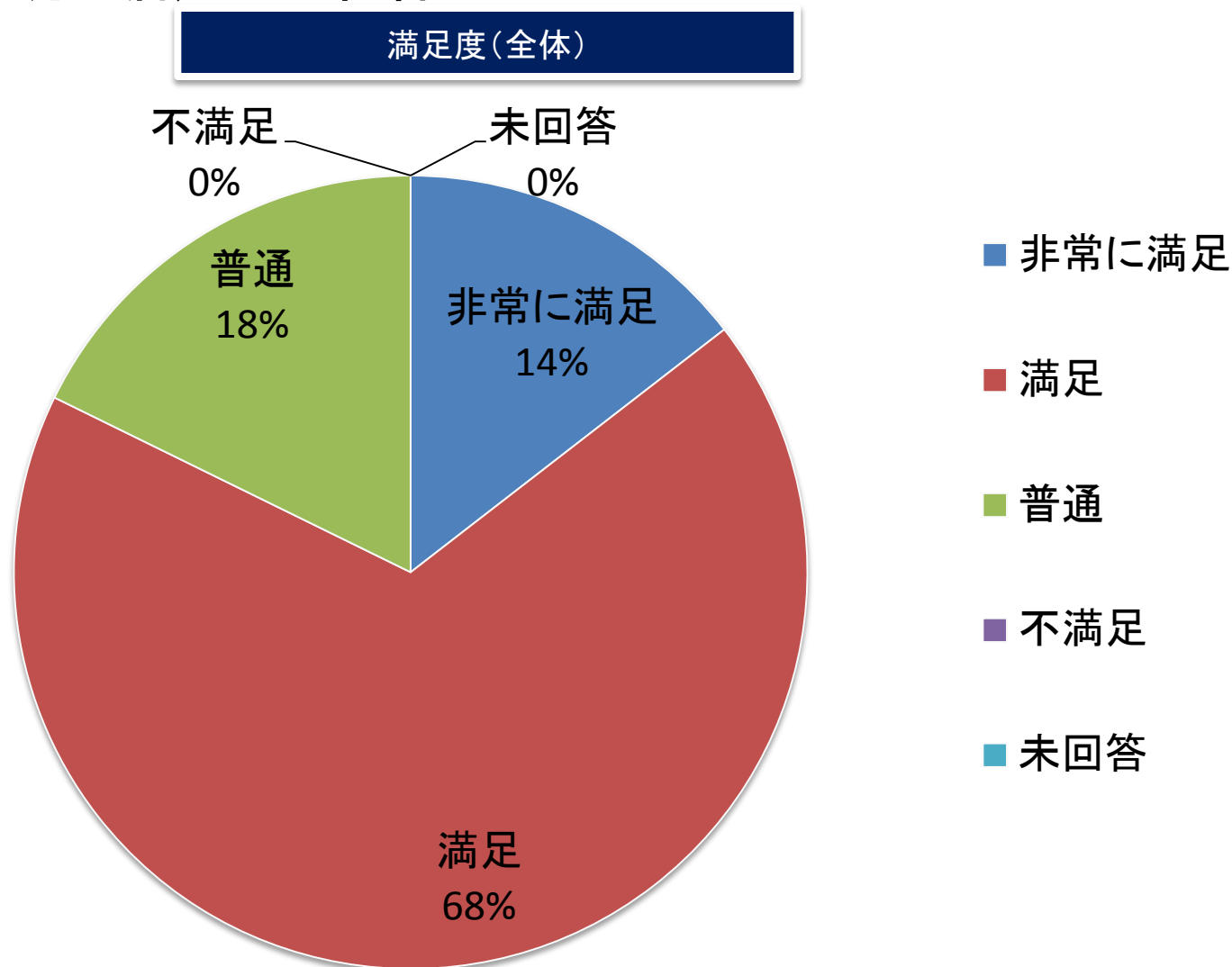


【設問3】回答者プロフィール③職種



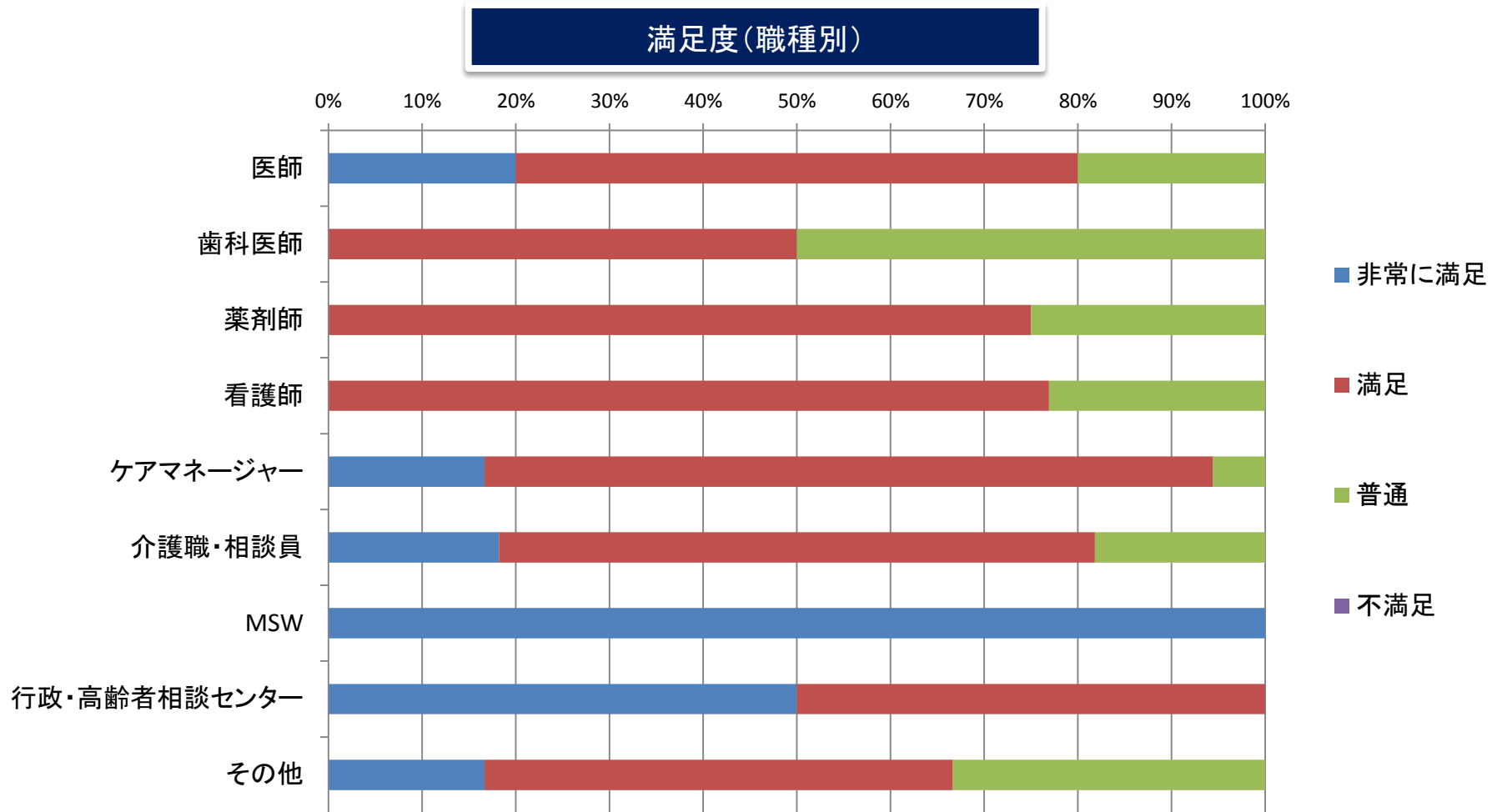
【設問4】事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。(①全体)

■ 80%以上の方が満足したと回答



【設問4】事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。(②職種別)

■MSWは全員、非常に満足と回答。



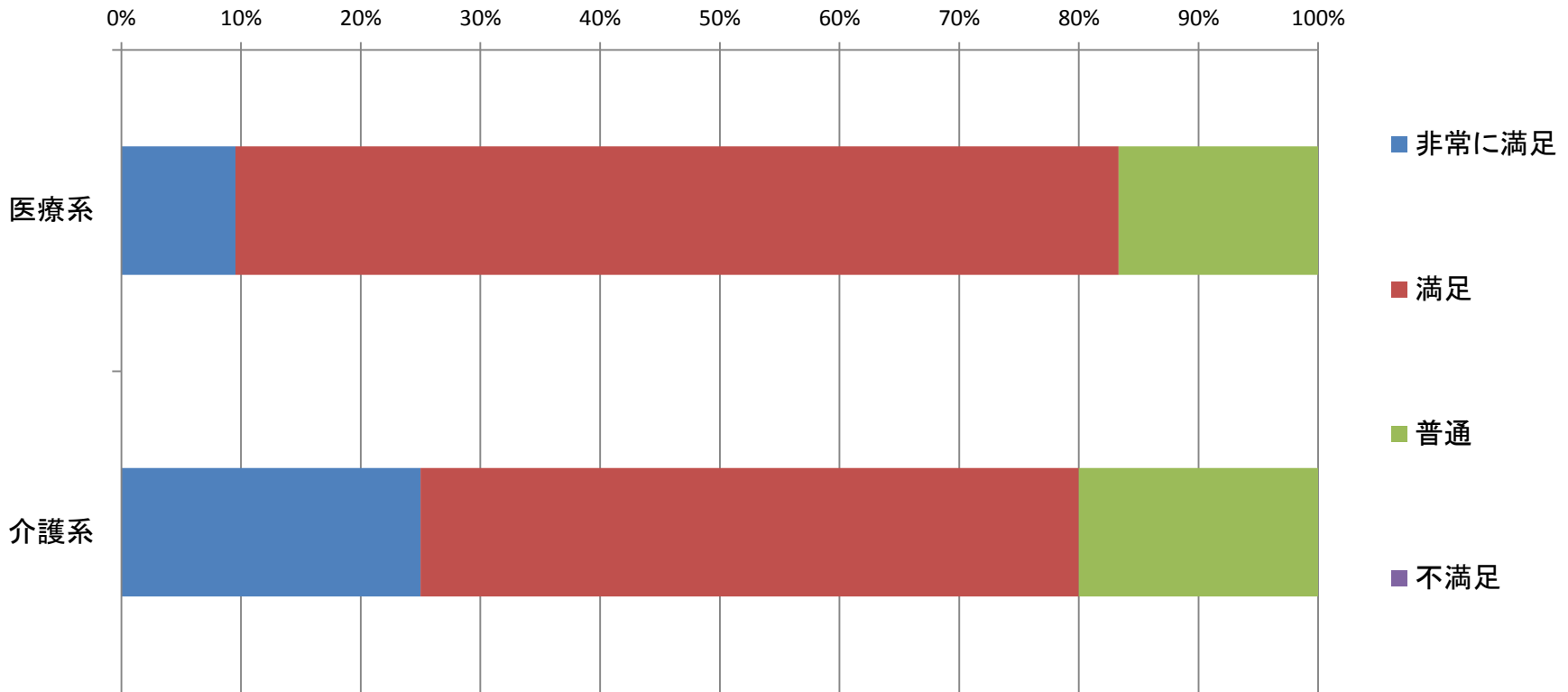
【設問4】事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。(③医療・介護職別)

■いづれも満足度は高いが、非常に満足したと答えた割合は介護系の方が大きい。

※医療系：医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士

※介護系：ケアマネージャー、介護職・相談員、MSW、行政高齢者相談センター職員

満足度(医療・介護職別)

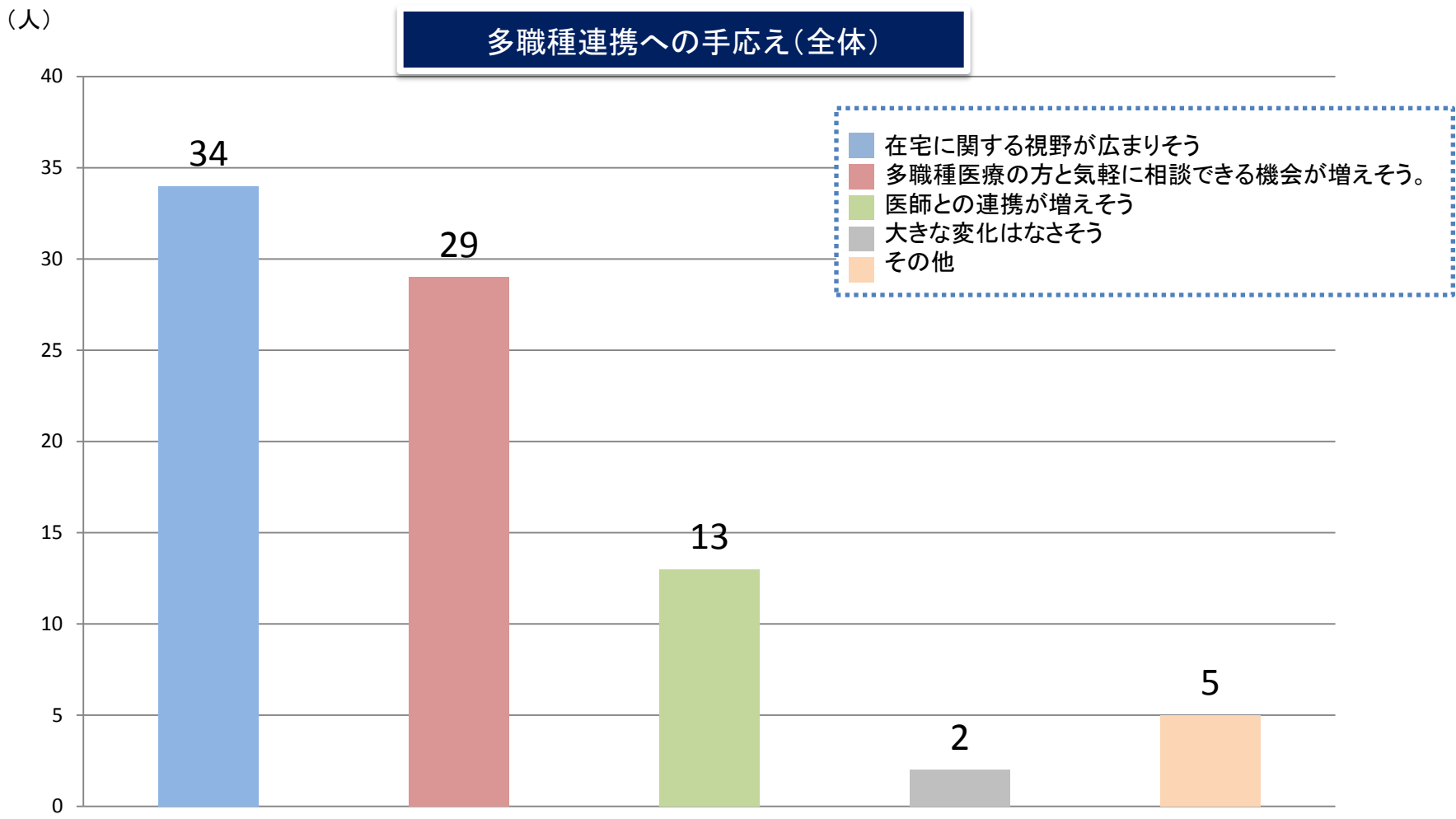


【設問5】事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？

(①全体)

※複数回答可

■ほとんどの方が何らかの手応えを感じている



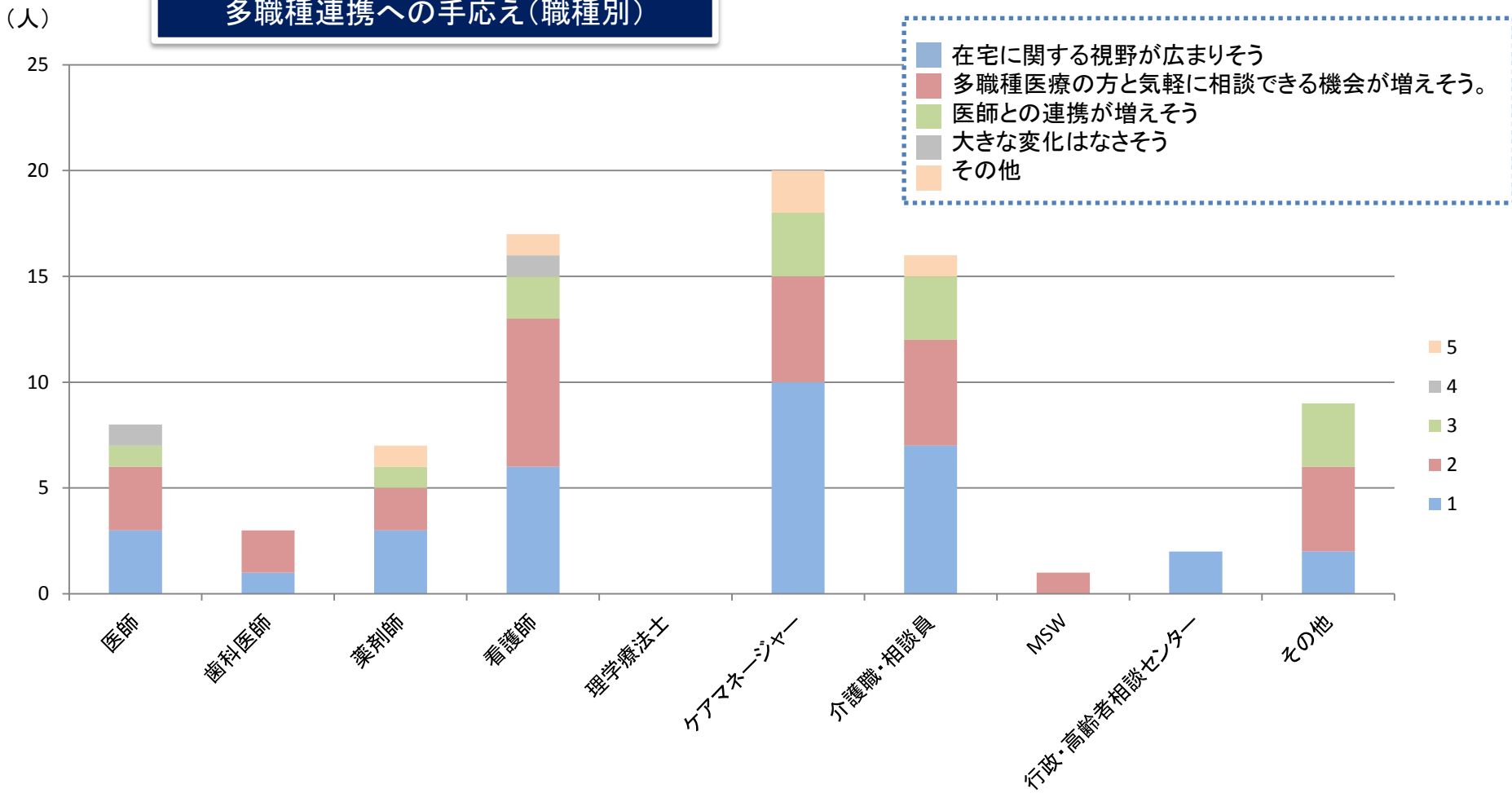
【設問5】事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？

(②職種別)

※複数回答可

■職種によらず連携への期待の声は大きい。

多職種連携への手応え(職種別)



■介護系職種の方の医師との連携に対する期待度は高い。

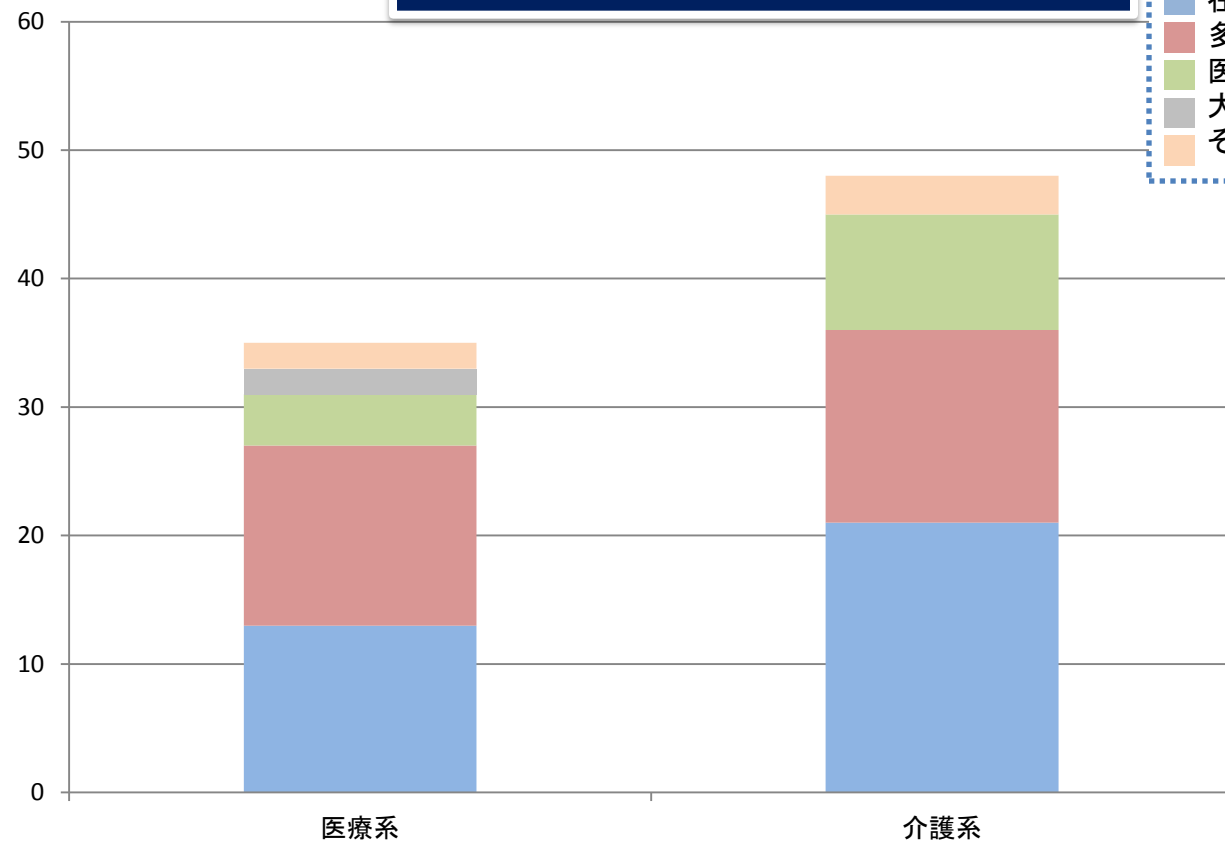
※医療系：医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士とし

※介護系：ケアマネージャー、介護職・相談員、MSW、行政高齢者相談センター職員とした。

(人)

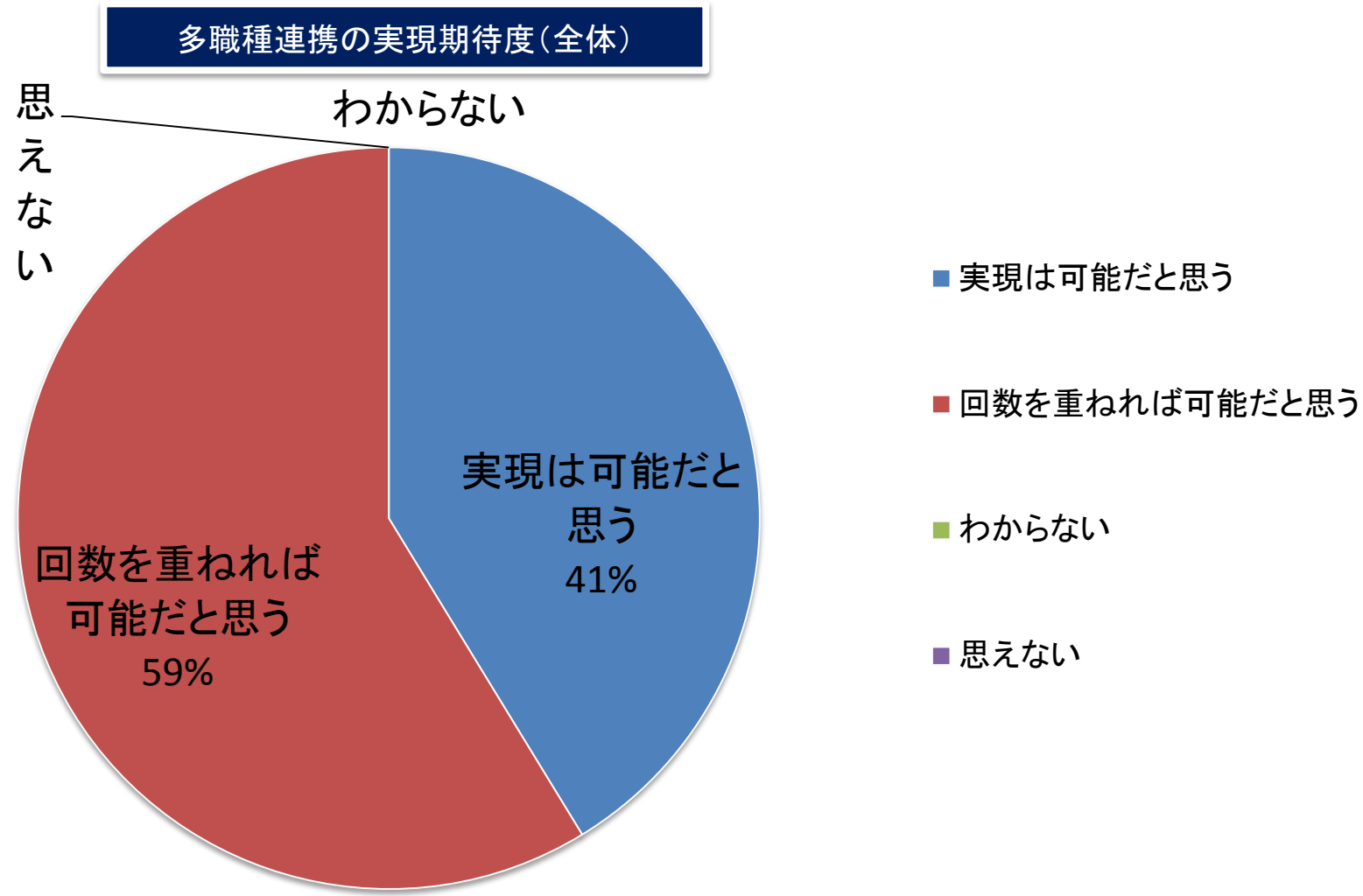
多職種連携への手応え(医療・介護職別)

- 在宅に関する視野が広まりそう
- 多職種医療の方と気軽に相談できる機会が増えそう。
- 医師との連携が増えそう
- 大きな変化はなさそう
- その他



【設問6】事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。 (①全体)

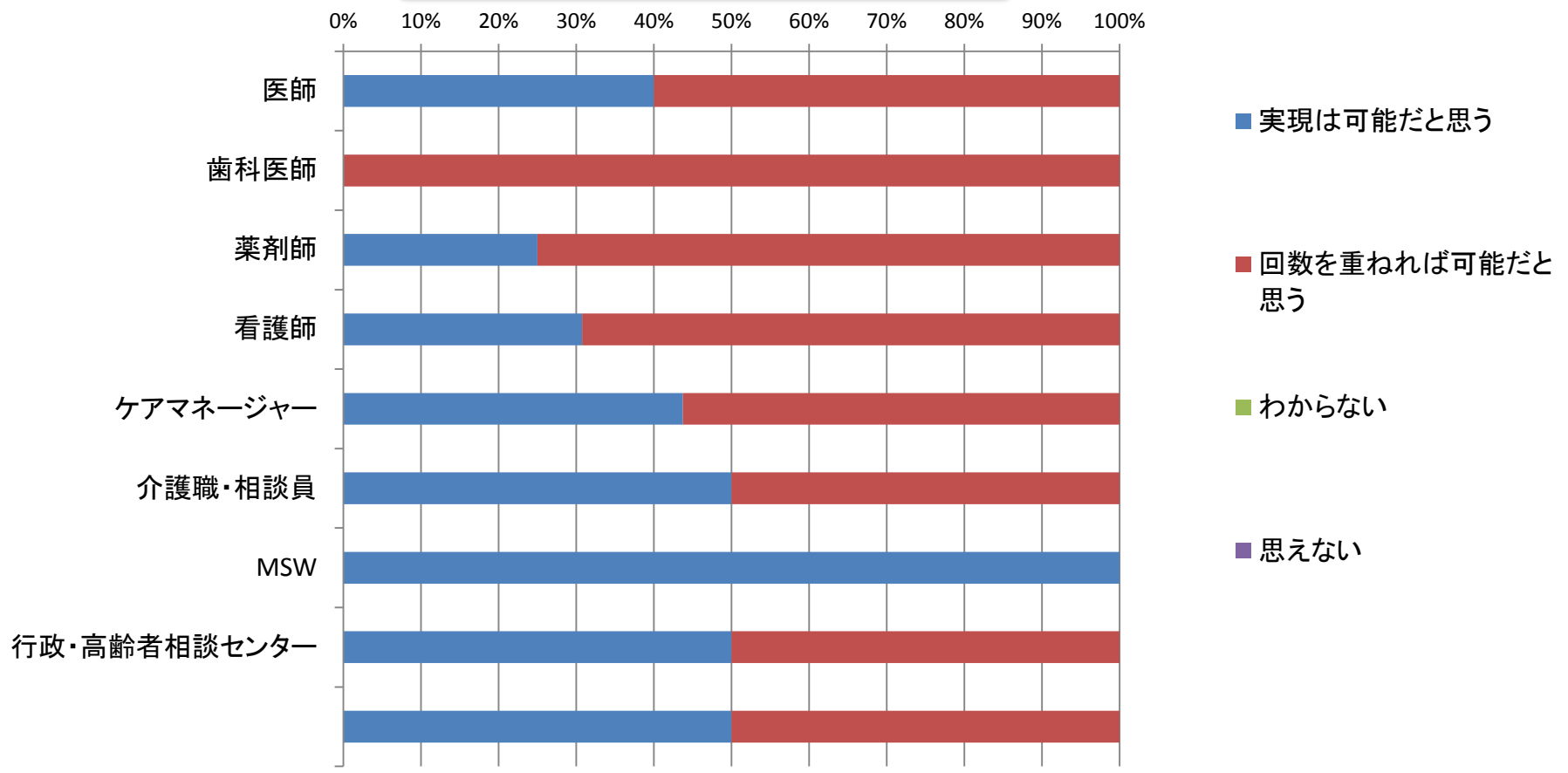
■すべての方が実現可能と回答



【設問6】事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。
 (②職種別)

■すべての職種の方が可能と回答

多職種連携の実現期待度(職種別)

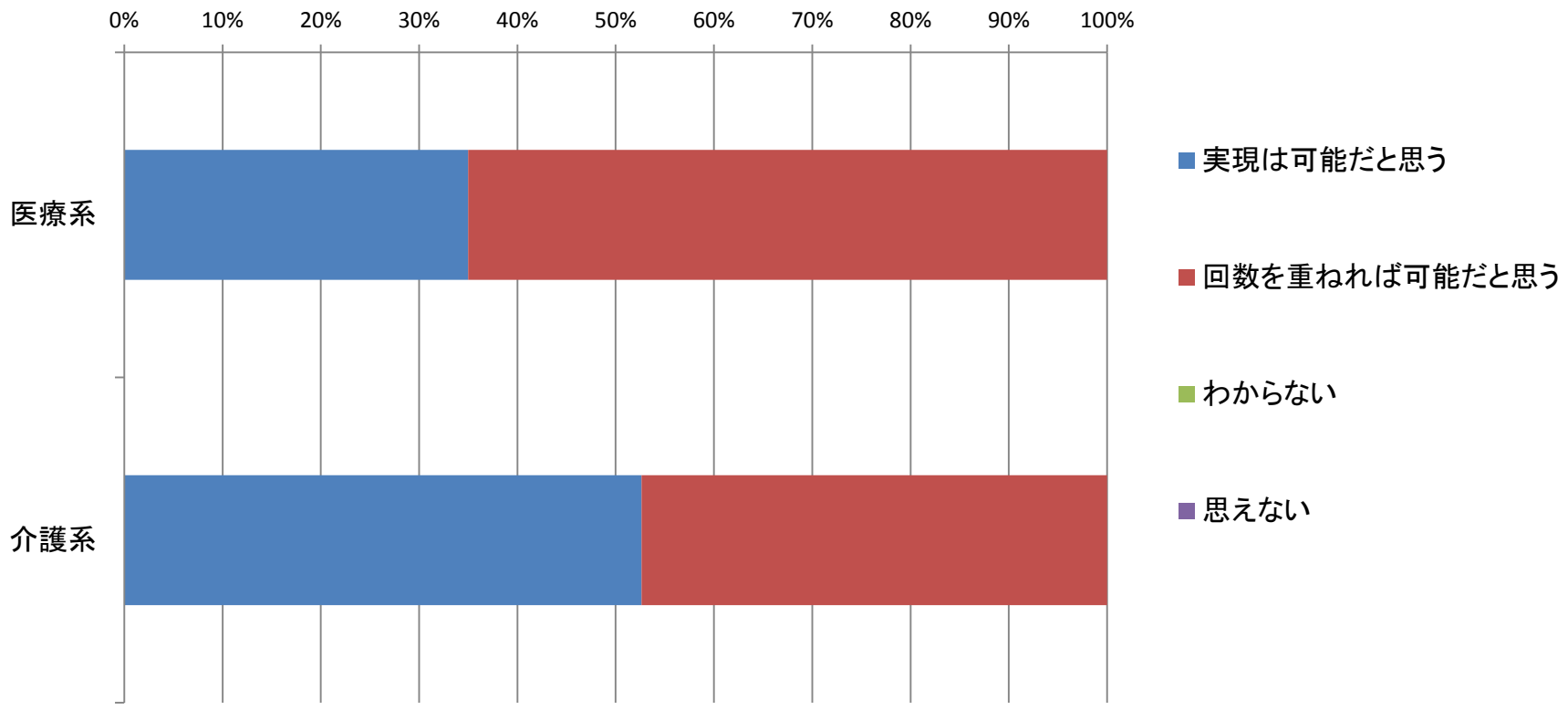


【設問6】事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。 (③医療・介護別)

■介護系職種の方が実現期待度が高い

※医療系:医師・歯科医師・薬剤師・看護師・理学療法士とし
※介護系:ケアマネージャー、介護職・相談員、MSW、行政高齢者相談センター職員とした。

多職種連携の実現期待度(職種別)



■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

1: 非常に満足を選ばれた方の理由

- ・在宅療養においては尊厳や、死生観の問題はとてもむずかしく、このケースにおけるケアマネとの関わり方に考えさせられた。
- ・レスパイト入院の確保の必要性をあらためて考えさせられました。
- ・こういった事例検討会を増やして地域包括ケアの構築につながっていけばいいと思う。
- ・神経系の難病の方に対するレスパイト入院という考えはもっていませんでした。
- ・連携介入のポイントがわかった。
- ・ご家族の考え・思いを引き出す工夫がわかった。

■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

2: 満足を選ばれた方の理由

- ・レスパイトの場所があることはありがたいことであると思います。
- ・実際の事例をわかりやすく提示していただいた。
- ・症例としてとても参考になりました。なかなかレスパイトを上手に利用することが難しい現実ですが、どのかたもレスパイト入院できればいいと思います。
- ・連携ができているケースで理想的な支援であった。
- ・各職種の患者さまへのアプローチを学ぶことができた。
- ・実際進行中のケースでもあり、参考になりました。
- ・今回のケースで、多職種間でどのくらいの頻度でどのような内容の共有があったのかもっと具体的に知りたかった。
- ・視野を広げる機会となると思います。難病患者の方の支援が難しいので、参考になりました。
- ・退院時にレスパイト入院の提案をしてくださる病院があることにとても驚き、在宅で療養されている方々のために本当に助かると思いました。私達の提案のはばが広がります。
- ・具体的な事例について知ることができた。
- ・医療と介護の連携は難しいと思ってました。実際いままもそう思うところも有ります。より広がってくれればと思いました。
- ・看護師の方々のシステム化された動きの良さに感心させられた。

■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

2: 満足を選ばれた方の理由 (continued)

- ・ 今後に活かしたい。
- ・ 老老介護でも、医療依存度の高い方でも、退院前の指導や、退院後の在宅ケアの細かいスケジュールを計画し、レスパイトを確保すれば十分に可能であると思いました。
- ・ 介護職の話を書くことは日頃からあるが、在宅診療のドクターやナースの話はあまり聞く機会がないので、大変有効でした。
- ・ 入院、退院、在宅の一連の流れについて、普段触れる機会がないので勉強になりました。
- ・ 在宅医療の実際・課題を学べた。在宅初心者として勉強になりました。
- ・ 今後のケアの参考になった。
- ・ 事例を通して、役割が見えてきて、勉強になりました。
- ・ 様々な職種の視点がありわかりやすかったです。
- ・ 実際の事例が聞けたのでよかった。
- ・ 自身の経験では、他の疾患で自宅にもどられ、残念ながら、一週間あるいは数週間で亡くなられたケースしかなかったので、レスパイト入院も利用して、一年以上うまくいった事例を知ることができてよかった。
- ・ 細かなケアをしていると参考になりました。
- ・ 同様のケースに対してとても参考になりました。また病院の退院の流れもしることができて良かったです。
- ・ レスパイトの考え方にも幾つもあることが知れて良かったです。
- ・ 在宅医療のチームケアの実際を知ることができた。
- ・ 日常業務と異なった話をきけたのがよかった。今日の話では、薬剤師の関わる部分が少なかったので、次回は別の事例を聞きたい。

■設問4: 事例検討会の満足度について、お聞かせ下さい。

1: 非常に満足 2: 満足 3: 普通 4: 不満足

3: 普通を選ばれた方の理由

- ・各職種の連携・医療系の職種に関してはとても丁寧に説明していただいたが、医療と介護がどのようかというところが少なく、もう少しそのあたりが聞きたかった。
- ・生活面や、患者様を支える家族の心構えなどもわかるとなお良かった。
- ・うまくいった事例だけでなく、苦しかった事例も聞けると良いと思います。
- ・医療系の連携内容が多くみられた。

4: 不満足を選ばれた方の理由

選択者なし。

■設問5: 事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？ (複数回答)

1: 在宅医療に関する視野が広がりそう、選ばれた方の理由

- ・医療・介護の連携がうまく行ったケースであった。医師・訪看・介護が一体となり、良い方向に向けるように積極的に行動していきたい。
- ・他職種間でコミュニケーションの大切さ、捉え方の違いなど、どれがかけても家族への不安が生まれてしまうことなどがある点で、改善を考えていく必要性を感じました。
- ・これからのニーズが高まることだと思います。
- ・レスパイトを進めることで在宅医療の可能性が大きくなる。
- ・なんとなくそう思いました。
- ・ソーシャルワーカーとドクター、ナースの連携が上手にとれていたのも、家族も安心出来たと思う。医療連携は大事である。
- ・訪問介護の綿密なアセスメント、チーム連携など参考になった。
- ・他職種の行動原理を学ぶ必要がある。
- ・薬剤師として、在宅で何ができるのかのきっかけになった。薬剤師の役割はまだまだこれからという感じがしました。
- ・岡田さんの説明がわかりやすかったのも、身近に感じられた。
- ・これからは他の職種との連携をしたいです。
- ・それぞれの専門の方々がやっている対応や考え方がよくわかった。
- ・今回は、訪問医とバックベッドの連携がよくわかった。

■設問5: 事例検討会に参加して、多職種の方との関わりで感じたことはありますか？ (複数回答)

2: 多職種の方と気軽に相談できる機会が増えそう、選ばれた方の理由

- ・顔のみえる関係でなければお互いの意見も話せないのだからこういった機会に出来るだけ参加していきたいと思います。
- ・全職種の方が集まるカンファレンスの設定はなかなか困難。電話・FAXを使い、お互いが、日々発信しあうことが現実的だと思います。
- ・お顔を拝見できることで、今はTELでのやりとりも気兼ねなく行えると思います。
- ・顔が見える関係づくりができる。
- ・地域間においての他職種の交流が増えてきており、とてもありがたい。
- ・なかなかお話することが難しい。
- ・初めて会う人も多く、お話ができてよかったと思う。

3: 医師との連携が増えそう、選ばれた方の理由

- ・岡田先生のような気さくな先生が増えればいいですね。

4: 大きな変化はなさそう、選ばれた方の理由

- ・選択者なし。

■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

1: 実現は可能だと思う、を選ばれた方の理由

- ・医者同士でも医療が専門分化しすぎているのか、科が違くと医師同士でも遠慮が感じられる。
- ・このような事例を知り、実際のケアに関わっていくための知識が得られたと思います。
- ・知り合う、ということが一番の理解につながるとおもいます。
- ・他職種との交流が増えていけば地域包括もできあがり、医療介護の環境が出来上がると思う。
- ・意識の問題と考えられる。必ず実現できるはずだ。
- ・今後の高齢者急増時代を考えると独居以外の方の在宅介護は連携を条件としてやらざるをえなくなるから。
- ・こういう勉強を続けたい。

■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

2: 回数を重ねれば可能だと思う、選ばれた方の理由

- ・電話よりも顔を合わせた連携の方が連携がスムーズになる。
- ・同じような会に出来るだけ多くの人に参加してほしいと思うので、また機会を作っていたきたいと思う。
- ・始めた頃より、敷居が低くなり、また、在宅医療に関心をもつ医師が増えた。
- ・一度では難しい。
- ・現場での経験の積み重ねであると思います。
- ・継続し、参加者の幅が広がるのが大切だと思います。
- ・回数を重ねた上で、実地的な連携が必要と考えます。
- ・一度では難しいと思います。
- ・何が問題で何が必要か、都会型の在宅医療を考えていく必要があると感じた。
- ・顔を覚えてくれれば可能かと・・・
- ・介護者の受け取れる気持ちが大きく左右されると思う。
- ・医師との連携が難しいと思うが、今回のように話し合うことができれば可能ではないか。

■設問6: 事例検討会やその他研修を通して在宅医療介護の連携が実現できると思いますか。

3: わからない、選ばれた方の理由

・選択者なし

4: 思えない、選ばれた方の理由

・選択者なし

■設問:ご意見ご要望

- ・本日は貴重な時間を作っていただき、ありがとうございました。また、行政の方々もこのような機会のセッティングをしていただきありがとうございました。これからは大事であると思います。一つ一つのケースを大事にして、今後もケアがよりよいものになっていけばいいと思います。
- ・レスパイト病院があることが、在宅医療の持続性につながると思います。
- ・連携事例を区の方々にたくさん集めていただき、公開していただきたい。
- ・訪問介護事業の参加が少ないのでは。
- ・パーテーションの裏の方々がうるさくてとても不快でした。発表が聞きづらかったです。
- ・レスパイト入院を受け入れてくださっている医療機関の情報が知りたいです。
- ・医師の参加が多く、他の職種の方々の参加が素晴らしく、これからもどんどん連携をテーマに開催してほしいと思いました。
- ・続けてほしい！
- ・やはり、今回のような顔のみえる機会は継続するべきであると思う。